

奈良県における取組

令和2年4月6日 **「第5次奈良県明日香村整備計画」**策定
(計画期間:令和2年度～令和11年度)

1. 第5次奈良県明日香村整備計画の基本的方向

明日香の価値の理解を通じ、明日香村の歴史的風土を保全する意義を多くの方々に理解していただくことが最も重要。「明日香の顕著な普遍的価値を明らかにし、その価値をわかりやすくストーリー性をもって発信すること」を最重要課題とし、世界遺産登録の実現をはじめ世界遺産にふさわしい整備を進める。

(1)国家基盤が形成された明日香の地にふさわしい歴史展示の推進

- ア 明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進
- イ 歴史文化資源の計画的調査
- ウ 世界遺産登録の実現と国内外への情報発信

(2)歴史的風土の維持・向上に向けた営農環境の基盤整備及び自然的環境の保全

- ア 明日香にふさわしい景観の形成
- イ 農業の活性化
- ウ 樹林地の景観のマネジメント

(3)歴史的風土の維持・向上に向けた地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展

(4)国内外の来訪者が明日香らしさを体感できる観光交流の振興

- ア 滞在型・体験型観光の推進及び受入環境の整備
- イ インバウンド観光の推進
- ウ 戦略的観光プロモーションの推進

(5)村民が定住できる生活環境基盤の整備

- ア 安全安心な生活環境基盤の整備
- イ 住み良い生活環境づくりと雇用環境の創出

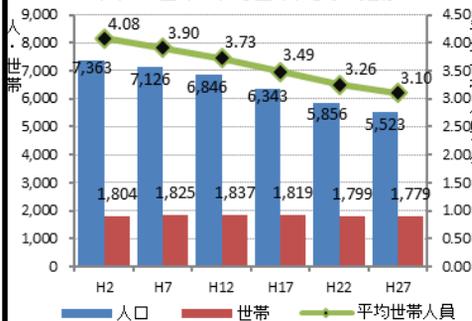
2. 課題

- ・明日香村の人口は平成2年をピークに減少するとともに、高齢化も年々進行。また観光客数も伸び悩むなど地域活力が減退している(「過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律」(平成29年法律第11号)により過疎市町村に指定)。
- ・寺院建築や出土物等の「歴史物」の展示はあっても、その背景となる歴史の展示が不十分であり、来訪者にとって明日香の意義や歴史が理解し難い状況にある。
- ・新たな産業の育成と地域活力の向上に対する「歴史的風土創造的活用事業交付金」による支援は、依然としてその必要性が高い。

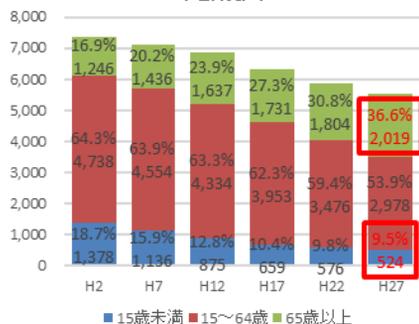
人口

平成7年から減少に転じ、平成29年度に過疎地域に指定

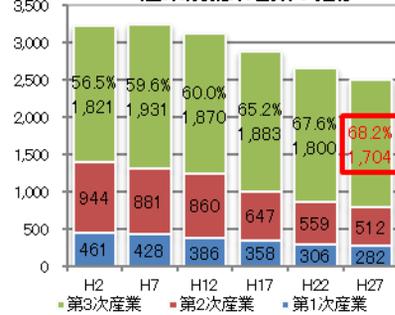
人口・世帯・平均世帯人員の推移



年齢別人口



産業別就業者数の推移

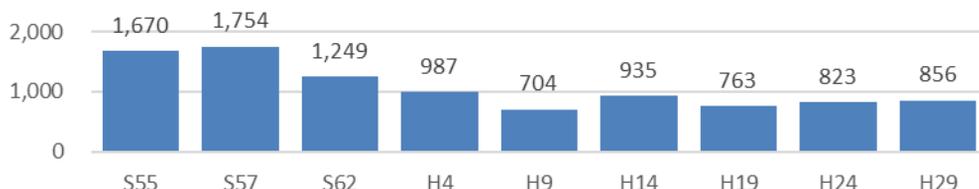


観光

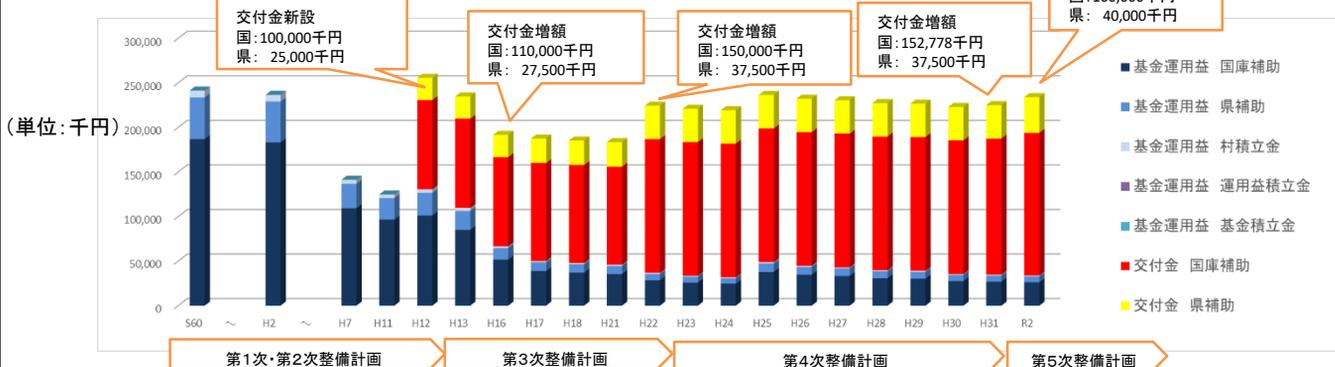
明日香法施行後は、S57をピークに減少に転じ、近年は約80万人程度で推移

(単位:千人)

観光客数



明日香村整備基金の推移



【関係市町村】 高市郡 明日香村

国にお願いすること

明日香村の貴重な歴史的風土の保存と住民生活の安定向上及び地域の活性化の調和を図るため、次の2点について特段の配慮をお願いしたい。

- 明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金の確保
令和3年度においても1億6千万円の予算確保をお願いしたい。
- 第5次明日香村整備計画への支援
第5次明日香村整備計画に対する支援をお願いしたい。

【県担当部局】 総務部知事公室 南部東部振興課